

和 樂

東京藝術大学出身の若き天才たちが集う和樂古伝セッション

千年の *Japan soul* 音

千年変わらぬ和樂旋律

洋樂では成しえない多彩な表現方法で奏でる尺八と箏

本物の表現者でなければ成しえない魂の響き

一度聴くと、本来の和樂器の音はこんなにも魅力的で表現豊かなのかと

驚きと感動をもって発見することになるだろう

非接触 オンライン・サロンコンサート

琴古流大師範
寄田真見乃

鹿の遠音 [琴古流尺八本曲]

明鏡 [杵屋正邦 作曲]

六段の調べ [八橋検校 作曲]

雲井獅子 [琴古流尺八本曲]

2 | Saturday
13 18時開演

能樂堂ホール tenjin9



[社会実験]
インターネット・ライブ配信
無料電子チケットURL

生田流箏曲正絃社師範
日吉章吾

主催：株式会社リール 共催：一般社団法人TOCOL 後援：山陽新聞社 RSK山陽放送 oniビジョン



琴古流大師範

寄田 真見乃 [YORITA, Mamino]



オフィシャルHP



演奏動画
「古伝楽籠(鶴の巣籠)」
YouTube (57万回再生)



Profile

1990年、京都生まれ。東京藝術大学 音楽学部 邦楽科 尺八専攻 卒業

●小学校3年、都山流尺八竹琳軒大師範 三好莞山氏に師事。中学3年(15歳)で都山流師範に登第。日本初の最年少師範として新聞報道される。
●15歳(高校1年)より、元アメリカ・オーバリン音楽大学客員教授 谷口嘉信氏(琴古流洗心窟大師範)に師事。琴古流尺八・仏教尺八・禅尺八及び尺八学全般を学ぶ。●同時期、人間国宝 二代目 青木鈴慕氏に「琴古流尺八本曲」や「三曲合奏曲」などの直伝を受ける。さらに、世界的尺八奏者 横山勝也氏に「古伝尺八本曲・海童道(わたづみどう)道曲」や「吾妻流本曲(福田蘭童曲)」や現代曲等、鎌倉時代から続く明暗流41世児島抱庵氏の薫陶直伝を受け、各師から賞賛を受ける。●異例の16歳(高校2年)で全国最年少の琴古流大師範を充許。準師範以上の平均年齢が63.5歳という尺八界において高校生でただ一人の大師範となる。●高校時代、3年連続で全国高校総合文化祭に出場。●人間国宝 山本邦山氏より賞賛を受けたほか各師に讃称を受ける。●20歳、デビューシングルCD『初音』を発売。アメリカ最大の楽器博物館『MIM』に展示される。●19歳当時、すでに、古伝尺八本曲(海童道道曲・普化禅尺八本曲・琴古流尺八本曲・根笹派錦風流尺八本曲)を修了し、主要な三曲合奏曲、現代曲や歌謡曲を習得。古伝尺八本曲の域に達する秘伝秘手も全て習得し、現代尺八界において稀有な存在として注目される。●2019年には、『一般社団法人 gem』を設立。不易流行の理念をもって古伝尺八の振興に努め、誰も置き去りにしない(no one will be left behind) 持続可能な地球社会の実現を目指す。

【主な演奏歴】

2011年、プラハで開催された『Japonský den 2011』に特別ゲストとして招かれ、チェコ音楽博物館で駐チェコ共和国日本国大使同席のもと演奏。国営チェコTVでも演奏し、ヨーロッパ各地で放映された。2012年、『安藤政輝 退任記念演奏会』に参加。2013年、2年連続で『文化庁芸術祭参加公演』の承認を受け、京都・金剛能楽堂、京都・青山音楽記念館 バロックザールで『文化庁芸術祭参加公演 寄田真見乃尺八リサイタル』を行う。2014年、『裏千家茶道資料館 コンサート』で演奏。初代天皇 神武天皇即位地・橿原神宮 本殿『玉串奉納』献奏。奈良・天照山来迎寺 本殿『落慶式典』献奏。奈良・丹生川上神社上社 本殿『上社奉納』献奏。2015年、(公財)京都市国際交流協会『国際交流会』で演奏。2016年、(公財)青山財団 青山音楽賞新人賞受賞研修成果披露演奏会『寄田真見乃 尺八リサイタル』(京都・青山音楽記念館 バロックザール)。2017年、DHCシアター『未来への伝統』第29回に出演(ANAの国際線で放映)。『おかやま国際音楽祭 2017』オープニングコンサートで演奏。MIHO MUSEUMで『春の夜間特別開館 寄田真見乃尺八リサイタル』を行う。2018年、『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』(大阪国立文楽劇場)に出演。2019年、『沿響 国際現代音楽祭アジアの管絃の現在 2019』(京都市立芸術大学)に出演。2020年、無観客コンサート(インターネット・ライブ配信)『Japan soul-古伝-』に出演。トライアル公演(インターネット・ライブ配信)『Japan soul-明鏡-』に出演。2021年、ヒップホップ界のレジェンド「The Pharcyde」が運営する『Pharcyde TV』に出演。

【主な受賞歴】

◆『NHK 邦楽オーディション』合格 ◆『青山音楽賞・新人賞』受賞 ◆『令和元年度 京都市芸術新人賞』受賞



生田流箏曲正絃社師範

日吉 章吾 [HIYOSHI, Shogo]



オフィシャルHP



演奏動画
「杏越」YouTube



Profile

1987年、静岡生まれ。東京藝術大学 音楽部邦楽科 生田流箏曲専攻 卒業。同大学院修士課程 修了

●6才より、生田流箏曲の手ほどきを生田流箏曲正絃社大師範の三木千鶴氏に受ける。●のちに、宮城社大師範の金津千重子氏に生田流箏曲及び三絃を師事。胡弓を高橋翠秋氏に師事。●小学校5年生の時、第15回全国小中学生箏曲コンクール最優秀賞受賞。●高校1年時、第13回全国高校生邦楽コンクールで最優秀賞および、リスナー賞を受賞。●在学中に安宅賞、大学院修了時には大学院アカンサス賞を受賞。●現在、古典作品に造詣を深める一方、邦楽と他の分野との接点を見つめ、現代における古典のあり方、次代につながる邦楽とは何かを模索している。

【主な演奏歴】

2009年、日氷交流事業『101tokyo』に参加。ローラン・テシュネ氏主宰のアンサンブル室町に参加。2011年、SPACE FACTORYシリーズⅣ『夢の浮橋』～源氏物語より～巻の四『儂い女』～夕顔～(代官山ヒルサイドテラス)に出演。2012年、NHK-FM『邦楽百番』、『亀治郎の会さよなら公演』。2013年、NHK『にっぽんの芸能』テーマ音楽収録に参加。奈良・薬師寺の『観月会』にて奉納演奏。2014年、イタリア・ローマの日本文化会館及び、スイスのシュビーツ、ルツェルン、ヌシャテルの各都市にて演奏。2015年、国立劇場主催『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会』、国立文楽劇場主催『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』、新国立劇場主催『近松 DANCE 弐題』に出演。2016年、トッパンホール(東京)にて『第1回日吉章吾箏曲演奏会』を開催。2017年、カザフスタン・アスタナにて行われた万国博覧会にて箏を演奏。フランス・コルシカ島、スイス・ジュネーブにて演奏(平家琵琶等)。2018年、モンゴル・ウランバートルにて箏を演奏。2019年、ポーランド(ヴロツワフ・クラクフ・ワルシャワ)にて演奏。

【主な受賞歴】

◆『第1回利根英法記念邦楽コンクール 一般の部 最優秀賞』受賞 ◆『賢順記念全国箏曲祭 第21回全国箏曲コンクール 銀賞』及び『福岡県知事賞』受賞 ◆『平成28年度(第71回)文化庁芸術祭音楽部門 新人賞』受賞